

令和7年度 定期作況報告

(10月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

9月下旬の平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の180%、降水日数は平年より0.6日多く、日照時間は平年の107%であり、高温・多雨に経過した。

10月上旬の平均気温は平年より1.8℃高く、降水量は平年の7%、降水日数は平年より3.2日少なく、日照時間は平年の147%であり、高温・少雨・多照に経過した。

10月中旬の平均気温は平年より0.8℃低く、降水量は平年の90%、降水日数は平年より0.1日多く、日照時間は平年の65%であり、低温・寡照に経過した。

9月下旬から10月中旬までの平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の79%、降水日数は平年より2.5日少なく、日照時間は平年の105%であった。

気 象 表 (アメダス岩見沢)

月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月	下旬	17.0	16.0	1.0	22.2	21.5	0.7	11.8	11.1	0.7	58.5	32.5	26.0	4.0	3.4	0.6	63.7	59.3	4.4
10月	上旬	15.4	13.6	1.8	20.9	18.4	2.5	10.1	9.3	0.8	4.0	53.4	△ 49.4	2.0	5.2	△ 3.2	68.1	46.4	21.7
	中旬	9.8	10.6	△ 0.8	14.1	15.7	△ 1.6	5.6	5.8	△ 0.2	39.0	43.2	△ 4.2	6.0	5.9	0.1	33.9	52.4	△ 18.5
平均(合計)		14.1	13.4	0.7	19.1	18.5	0.5	9.2	8.7	0.4	101.5	129.1	△ 27.6	12.0	14.5	△ 2.5	165.7	158.1	7.6

- 注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。
- 注2) 平年値は過去10年間の平均値。
- 注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
- 注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。
- 注5) △は低・少を示す。

Ⅱ 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年と同日の4月17日に行った。播種後は低温・寡照に経過し、出芽期は平年より4～5日遅かった。出芽後は高温で経過した。移植は平年と同日の5月20日に行った。

移植時の苗形質は、草丈は平年よりやや長く、主稈葉数は平年よりやや多く、第1葉鞘高は平年並であった。100本あたりの地上部乾物重および苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は平年を下回った。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:移植直後は低温で経過したことから、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じたが、その後は平年並から高温に経過し、生育は回復した。

6月20日における茎数は平年並から少なかったが、草丈は平年より長く、主稈葉数は平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

7月20日 やや不良

事由:6月下旬から7月中旬まで極めて高温で経過したことから、幼穂形成期は平年より2日、止葉期は平年より7日から8日、出穂期は平年より9日早かった。

草丈は平年並であったが、止葉葉数は平年より0.5-0.6枚少なく、茎数は平年より72-128本/m²少なかった。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

8月20日 やや不良

事由: 7月下旬から8月中旬にかけて高温に経過し、生育は前進している。稈長は56.2～59.0cmで平年より短く、穂長は15.7～16.0cmで平年よりやや短く、穂数は543～609本/m²と平年より少なかった。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

9月20日 不良

事由: 8月下旬まで継続して高温に経過し、成熟期は平年より10日早く、登熟日数は平年より1日短かった。穂数および一穂粒数は平年より少なく、1m²あたり粒数は22.7～23.6千粒で平年より24%少なかった。稈実歩合は平年並、登熟歩合は平年をやや上回ったが、登熟粒数は20.5～21.8千粒/m²と平年を20%下回った。

以上により、現在の作況は、不良である。

10月20日 不良

事由: わら重、精粒重はそれぞれ平年比78～87%、74～75%であった。粒摺歩合は平年より0.1～0.9ポイント低く、屑米歩合は平年より0.4～1.4ポイント低かった。精玄米千粒重は平年より0.5～0.6g重かった。登熟粒数が平年比80%とかなり少なかったため、精玄米重は40.8～42.7kg/aと平年を大きく下回り、収量平年比は73～75%であった。

以上により、現在の作況は、不良である。

なお、本作況圃は、移植直後の強風の影響で活着や分けつの発生が大きく遅れたことなどにより、生育が場内の他試験圃より劣った。

作況指数(収量平年比)と作柄(作況)の判定基準 (農林水産省の統計基準による)

作況指数	～94	95～98	99～101	102～105	106～
作柄	不良	やや不良	平年並	やや良	良

品種名 苗種		ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.17	4.17	0	4.17	4.17	0
出芽期	(月.日)	4.27	4.22	5	4.26	4.22	4
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0
幼穂形成期	(月.日)	6.27	6.29	△ 2	6.27	6.29	△ 2
止葉期	(月.日)	7.08	7.15	△ 7	7.08	7.16	△ 8
出穂期	(月.日)	7.16	7.25	△ 9	7.16	7.25	△ 9
成熟期	(月.日)	8.30	9.09	△ 10	8.30	9.09	△ 10
穂揃日数	(日)	6.0	6.2	△ 0.2	6.0	6.2	△ 0.2
登熟日数	(日)	45	46	△ 1	45	46	△ 1
生育日数	(日)	135	145	△ 10	135	145	△ 10
草丈(cm)	移植時	11.6	11.0	0.6	12.5	10.8	1.7
茎数(本/個体)	移植時	1.2	1.0	0.2	1.4	1.0	0.4
主稈葉数(枚)	移植時	3.5	3.2	0.3	3.8	3.4	0.4
第1葉鞘高(cm)	移植時	3.1	2.8	0.3	2.5	2.6	△ 0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	1.84	2.37	△ 0.53	2.24	2.40	△ 0.16
地上部乾物重/草丈	移植時	0.16	0.22	△ 0.06	0.18	0.22	△ 0.04
草丈	6月20日	30.1	27.6	2.5	30.0	27.5	2.5
(cm)	7月20日	72.9	71.1	1.8	74.0	71.1	2.9
茎数	6月20日	321	321	0	309	382	△ 73
(本/㎡)	7月20日	572	644	△ 72	640	768	△ 128
主稈	6月20日	7.0	7.1	△ 0.1	7.5	7.4	0.1
葉数	7月20日	9.8	10.2	△ 0.4	10.0	10.6	△ 0.6
(枚)	止葉	9.8	10.3	△ 0.5	10.0	10.6	△ 0.6
稈長	(cm)	59.0	66.2	△ 7.2	56.2	64.4	△ 8.2
穂長	(cm)	15.7	16.2	△ 0.5	16.0	16.7	△ 0.7
穂数	(本/㎡)	543	608	△ 65	609	716	△ 107
一穂粒数	(粒/本)	43.5	51.2	△ 7.7	37.3	41.7	△ 4.4
粒数	(千粒/㎡)	23.6	31.1	△ 7.5	22.7	29.9	△ 7.2
稈実歩合	(%)	94.5	93.8	0.7	90.4	93.9	△ 3.5
稈実粒数	(千粒/㎡)	22.3	29.2	△ 6.9	20.5	28.1	△ 7.6
登熟歩合	(%)	92.5	87.9	4.6	90.2	85.7	4.5
登熟粒数	(千粒/㎡)	21.8	27.3	△ 5.5	20.5	25.6	△ 5.1
粒摺歩合	(%)	77.6	78.5	△ 0.9	74.7	74.8	△ 0.1
屑米歩合	(%)	4.3	4.7	△ 0.4	6.6	8.0	△ 1.4
精玄米千粒重	(g)	23.5	23.0	0.5	24.0	23.4	0.6
わら重	(kg/a)	52.4	60.1	△ 7.7	47.6	60.8	△ 13.2
精粒重	(kg/a)	55.0	74.8	△ 19.8	54.6	72.7	△ 18.1
精玄米重	(kg/a)	42.7	58.7	△ 16.0	40.8	54.4	△ 13.6
屑米重	(kg/a)	1.9	2.9	△ 1.0	2.9	4.7	△ 1.8
収量平年比	(%)	73	100	△ 27	75	100	△ 25
検査等級			2上	-		2上	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和6年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土

施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱

栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/㎡ 3～4本植え

移植方法 : 手植え

反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和7年9月下旬～10月中旬までの概況は次のとおりである。

9月

下旬：平均気温は平年並より1.1℃高く、降水量は平年の116%と多かった、日照時間は平年の111%であり、平年より高温多雨多照であった。

10月

上旬：平均気温は平年より1.6℃高く、降水量は平年の21%と少なく、日照時間は137%と多く、平年より高温少雨多照であった。

中旬：平均気温は平年より0.6℃低く、降水量は平年の53%、日照時間は61%と少なく、平年より少雨少照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の59%、日照時間は平年の101%で、少雨であった。

気象表

道総研中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
9月	下旬	17.0	15.9	1.1	22.9	21.5	1.4	11.3	10.8	0.5	39.0	33.5	5.5	2.0	3.3	△ 1.3	64.3	58.0	6.3
10月	上旬	15.2	13.6	1.6	20.5	18.5	2.0	9.8	8.9	0.9	9.5	44.7	△ 35.2	4.0	4.9	△ 0.9	63.5	46.2	17.3
	中旬	10.0	10.6	△ 0.6	14.5	16.0	△ 1.5	5.3	5.1	0.2	16.5	31.4	△ 14.9	5.0	4.0	1.0	34.2	55.9	△ 21.7
平均(合計)		14.1	13.4	0.7	19.3	18.7	0.6	8.8	8.3	0.5	65.0	109.6	△ 44.6	11.0	12.2	△ 1.2	162.0	160.1	1.9

- 注1) 気象データはアメダス長沼。
注2) 平年値は過去10年間の平均値。
注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。
注5) △は減を示す。

II 作況

1. 秋まき小麦(令和7年播種)

令和7年10月20日作況：やや不良

事由：播種期は平年より4日遅い9月24日であった。出芽期は平年より3日遅い9月30日であった。草丈は平年よりやや短く、茎数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名 項目 \ 年次		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R6.月.日)	9.24	9.20	4
出芽期	(R6.月.日)	9.30	9.27	3
出穂期	(R7.月.日)		5.31	
成熟期	(R7.月.日)		7.14	
冬損程度	(0:無～5:甚)		0.4	
草 丈 (cm)	R6.10.20	17.4	18.5	△ 1.1
	R7.5.20		57.3	
	R7.6.20		100.2	
茎 数 (本/㎡)	R6.10.20	393	559	△ 166
	越冬前(11月)		1182	
	越冬後(4月)		1835	
	R7.5.20		1211	
	R7.6.20		791	
成熟期に おける	稈長 (cm)		89	
	穂長 (cm)		9.3	
	穂数 (本/㎡)		764	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		0.1	
子実重	(kg/10a)		889	
容積重	(g)		831	
千粒重	(g)		39.6	
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 前7か年中、令和5年(最豊)、令和3年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

5月20日、6月20日の草丈および茎数は令和2年を除く4か年平均。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦 記載事項なし

3. 大豆

6月20日 やや良

事由:播種期は平年並の5月19日であった。播種後平年並の気温があったことから出芽期は平年並の6月1日であった。その後、平年並の日照時間と高温であったことから主茎長は平年より高く、主茎節数はやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日 やや良

事由:6月中旬以降7月上旬までかなり高温多照に経過し、生育は進行した。開花期は平年より6日早い7月7日であった。主茎長は平年より長く、主茎節数および分枝数は平年よりやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日 やや良

事由:主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年よりやや多く、分枝数は平年より多く、着莢数は平年比121%と上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日 良

事由:主茎長は平年並で、主茎節数および分枝数は平年よりやや多く、着莢数は平年比127%と上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

10月20日 良

事由:9月中～下旬の気温は平年に比べやや高く推移し、成熟期は平年より1日早かった。一莢内粒数は平年並、百粒重は平年より2.7g重く、着莢数が平年比123%と多かったことから、子実重は平年比120%と多収となった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名		トヨムスメ		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.19	0
出芽期	(月.日)	6.1	6.1	0
開花期	(月.日)	7.07	7.13	△ 6
成熟期	(月.日)	9.29	9.30	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	16.1	11.7	4.4
	7月20日	54.6	46.6	8.0
	8月20日	56.0	52.6	3.4
	9月20日	52.2	52.1	0.1
	成熟期	52.5	51.7	0.8
主茎節数 (節)	6月20日	4.4	3.2	1.2
	7月20日	10.4	9.3	1.1
	8月20日	10.4	9.6	0.8
	9月20日	10.6	9.6	1.0
	成熟期	10.3	9.4	0.9
分枝数 (本/株)	7月20日	7.0	6.1	0.9
	8月20日	8.3	6.6	1.7
	9月20日	7.9	6.6	1.3
	成熟期	7.5	6.6	0.9
着莢数 (莢/株)	8月20日	96.8	80.1	16.7
	9月20日	91.3	71.9	19.4
	成熟期	87.7	74.0	13.7
一莢内粒数		1.81	1.85	△ 0.04
子実重	(kg/10a)	520	433	87
百粒重	(g)	40.7	38.0	2.7
屑粒率	(%)	2.1	2.1	0.0
品質	(等級)		2中	
子実重平年対比 (%)		120	100	20

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和6年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：やや良

事由：播種期は平年並の5月22日であった。6月以降、やや高温に経過したことから、出芽期は平年より7日早い6月5日であった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年よりやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：やや良

事由：高温に経過したことから、開花期は7月15日で平年より8日早かった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数および分枝数は平年より多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日作況：平年並

事由：高温に経過したことから、主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年より多く、分枝数はやや多かった。着莢数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日作況：やや良

事由：成熟期は9月8日で平年より2日早かった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数、着莢数および一莢内粒数は平年より多く、分枝数は平年よりやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

10月20日作況：良

事由：子実重は339kg/10aで、平年比111%であった。登熟期間中は全般に高温で経過したため、百粒重は平年よりやや軽かった。屑粒率は平年並であった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名		エリモ167		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月. 日)	5. 22	5. 22	0
出芽期	(月. 日)	6. 05	6. 12	△ 7
開花期	(月. 日)	7. 15	7. 23	△ 8
成熟期	(月. 日)	9. 08	9. 10	△ 2
主茎長 (cm)	6月20日	5. 0	4. 4	0. 6
	7月20日	21. 6	19. 8	1. 8
	8月20日	64. 6	55. 1	9. 5
	成 熟 期	68. 3	59. 1	9. 2
主茎節数 (節)	6月20日	2. 4	1. 8	0. 6
	7月20日	11. 3	8. 0	3. 3
	8月20日	17. 4	14. 7	2. 7
	成 熟 期	16. 6	14. 2	2. 4
分枝数 (本/株)	7月20日	4. 8	3. 5	1. 3
	8月20日	5. 4	4. 5	0. 9
	成 熟 期	4. 9	4. 2	0. 7
着莢数 (莢/株)	8月20日	49. 7	52. 3	△ 2. 6
	成 熟 期	53. 8	45. 8	8. 0
一莢内粒数		6. 54	5. 93	0. 61
子実重	(kg/10a)	339	305	34
百粒重	(g)	13. 3	13. 8	△ 0. 5
屑粒率	(%)	6. 6	5. 6	1. 0
品質	(等級)		3中	
子実重平年対比 (%)		111	100	11

注1) 平年値は前7カ年中、令和3年（最豊）、令和5年（最凶）を除く、5カ年平均。

5. ばれいしょ 追加事項なし